シア革命記念日等の国際的斗争の参加、また、ファシスト、社会ファシストによって六中四試会に対する農村救済請願の署名運動が起されたにかかわらず、吾々は独自の立場からの斗争が取り上げられず、その他二月事件の暴圧反対斗争、全国的に斗かわれた、政治犯人死刑重刑反対斗争の如き、全然斗争が起されなかったのである、また経済斗争に於ても、土地引上、小作米減免等期節的斗争の宣伝煽動が実に不充分であった、此の斗争の立おくれ矣に今一つは、

(四)計画性の欠除である、

土地引上、小作米減免斗争の如く、組合の根本的斗争に於てすら或る場合には、具体的上斗争方針の決定さへなされず、又地主の裁判、調停に受動的に応ずる如きものが斯くの如き迷妄備尚、場当主義的な斗争では、地主の攻撃がファッショ化と共に強まりゆく今日、到底小作人の勝利と大衆獲得の成果を得ることは、不可能と言わねばならない、ばかりでなく、たへず、斗争の敗北を受け、組合衰滅の結果をもたらすに至るであろう。

(二)更ら に、一つの斗争が次の斗争へ高められることなく、大衆的斗争への展開の不充分さ等が挙げられるし、農民委員会活動の(借金、税金、村会、農会、産業組合の問題)が取り上げられて、充分に斗かわれてない、此のことは、吾々農民全国会議を目い形の小作人組合の様に考へてゐる誤謬が清算されてゐないためである、部落町村に於ける勤労大衆の凡ゆる不平を取りあげて斗争に組織することがなされなくては、組織の拡大は図られない、

(ホ)縄張主義、組合に入ってゐない未組織農民との間に発生した問題を支持し、指導することは損だとか組合に頼みに来れば捨てておけと云ふ誤謬や、更らに、悪い性質傾向は、俺が問題は引受けて解決してやると云ふ、三百代言行為が改められず、組織の可能性が充分に熟してゐるにもかかわらず、組織が出来なかったり、大衆を斗争に起ち上らせることがなされてゐない、大衆を斗争に起たせることによってのみ、組織の強化を得るものである、

(へ)村会議員の斗争の不充分、組合から送出された町村会議員は、全貧農小作人の政治的利益のために村会内に於て積極的斗争がなさるべきであるし、村会の問題は組合員には勿論、全大衆に余す処なく報導して、大衆を斗争に動員し大衆獲得の任務を有つのにかかわらず、その斗争が実に不充分であった、

五、当面の任務

(一)[redacted]

(イ)班支部地区県聯各戒関の再確立　暴圧后の本部活動は、組織の再建斗争を重要問題として斗ってきたが、本部負の手不足、財政難によって、充分の成果を挙げることが出来なかったが、班支部地区委員会の確立、県聯各部門の決定と、その統制ある組織的斗争は、活動分子の少くない、時最も重大なことである、

(ロ)財政、支部基金の積立ては充分に実行されてゐない、また本部活動の基本となる組合費基金の徴収積立て、県聯財務部の確立がなされねばならぬ、言い得られない、班支部、会計の責任ある組合費基金の徴収積立て、県聯財務部の確立がなされねばならぬ、

(ハ)教育活動、暴風三ヶ月、部落新聞の確実なる発行によって未組織農民の間に於ける問題、組合の斗争の有様を年間に報導し、宣伝煽動せねばならない、新幹部の養成によって、斗争の停止、各戒関の活動の不活発を清算すべきである、

(二)婦人、青少年部、斗争は、調停裁判たのみ、法律的かけ引ばかりでは、到底勝利を得ることは出来ない、[redacted]親父組合のみに限定せず、婦人、青年、少年が動員され、それぞれの役割を果さねばならない、その為めに婦人、青年、少年部を確立し斗争に備わねばならぬ、

(三)吾県聯は、全農全会議として、経済斗争をすべ題月に斗かい大衆斗争団体であることは言かまでもなく、また、貧農小作人一般勤労大衆の政治的問題を取りあげて斗ふ合法的大衆団体であることも今更ら論ずるまでもない、従って、広汎なる大衆獲得のためには、機械的に、公式主義の一点張りで一切を処理することなく、地方地方に於ける具体的情勢を充分にクミ取って、誤りのない、指導と大衆獲得の斗争が起されねばならぬ、

(イ)小作米減免、土地引上反対の如きも、未組織農民との間に相談会をもち、小作米マケロの会、XX同盟等によって、斗争に広汎なる大衆を組織される方法を取り、減免要求書を貧農組合の方針をオシツケるのでなく、充分